

- 問1 地域の産業振興に関する取り組みの中で、その地域で生産された農産物や水産物などの産品を、その地域の中で消費しようとする活動を何というか。最も適切な名称を選択してください。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 国際分業                      2. 促成栽培                      3. 食料自給                      4. 地産地消
- 
- 問2 日本の険しい山地において、斜面を階段状に切り開いて水田を造成している理由として、日本の地形的特徴と土地利用の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2016年 広島県公立入試 類似)
1. 扇状地などの水はけが良い土地を利用して、果樹の栽培を専門的に行うため。                      2. 海外からの農産物の輸入を前提として、平地のすべてを住宅地や工業用地に転換するため。                      3. 平地が少ない地形において、傾斜地に平坦な面を確保することで稲作を可能にするため。                      4. 広い平地を活用して、大型機械を導入した効率的な大規模農業を行うため。
- 
- 問3 九州地方や四国地方の平野部において、施設園芸を利用してピーマンやなすなどの出荷時期を本来よりも早める工夫が行われている理由として、最も適切なものはどれか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 夏の強い日差しや台風による被害を避けるため、収穫を春までに終わらせるため                      2. 化学肥料や農薬の使用量を抑えることで、環境に配慮したブランド野菜を作るため                      3. 他の産地からの出荷が少ない時期に販売することで、より高い価格で売するため                      4. 同じ土地で1年間に2種類の異なる作物を栽培し、土地の利用効率を高めるため
- 
- 問4 日本の三大工業地帯の一つで、東京都から神奈川県の大東京湾に面した臨海部を中心に広がる工業地帯を何と呼びますか。最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯                      2. 中京工業地帯                      3. 北関東工業地域                      4. 京葉工業地域
- 
- 問5 日本のエネルギー資源の輸入状況について、サウジアラビアが約4割、アラブ首長国連邦が約3.5割、クウェートが約1割弱と、輸入相手国の上位を中東の国々が占めている資源の名称として適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 鉄鉱石                      2. 石炭                      3. 原油                      4. 天然ガス
- 
- 問6 日本の海上輸送による輸入品目の内訳を確認すると、日本の経済や人々の生活を支える特定の資源が高い割合を占めていることがわかります。海上輸送によって運ばれる主要な輸入品目の組み合わせとして正しいものを選んでください。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 集積回路（IC）・医薬品・電子部品                      2. 原油・液化ガス・石炭                      3. 生花・衣類・肉類                      4. 新聞・生鮮野菜・宝飾品
- 
- 問7 ある過疎地域では、地元の農水産物を用いた加工食品の売上高が伸びており、それに伴って地域内の事業所数や働く人の割合も上昇しています。この状況から読み取れる、地域産業の振興と地域社会の維持に関する説明として正しいものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 事業所数を増やすために、地元の資源とは関係のないIT企業などの誘致を最優先している。                      2. 農家や漁師の数を減らして効率化を進め、余った労働力を都市部の工業地帯へ送り出している。                      3. 地場産品の開発や生産を強化することで、売上を伸ばし、地域での雇用を増やしている。                      4. 加工食品の売上高を増やすために、地場産品ではなく他県産の安価な原料を主に利用している。
- 
- 問8 日本の農業において、農家の高齢化に対応し生産性を高めるため、農家一戸あたりの耕作面積や飼養頭数を増やしたり自動化技術を導入したりする取り組みを何というか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 農産物の海外輸出促進                      2. 地産地消の推進                      3. 農業経営の規模拡大                      4. 遊休農地の宅地化
- 
- 問9 現代の日本において、福岡市のような大都市圏では第3次産業に従事する人の割合が非常に高くなっています。都市部において、農村部と比較して第3次産業が発達する理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 原料の輸入に便利な港湾施設が整備されており、鉄鋼や化学製品などの製造が中心だから                      2. 自然環境を活かした観光資源が豊富であり、キャンプ場や林業の経営が主な収益源だから                      3. 人口が密集しており、多様な生活を支える小売業やサービス業への需要が非常に大きいため                      4. 平坦で広い土地を確保しやすいため、大規模な機械化農業を行う環境が整っているため
- 
- 問10 東京都中央卸売市場におけるレタスの出荷状況を見ると、茨城県や静岡県の出荷量が極端に少なくなる7月から8月にかけて、長野県産の出荷量がピークを迎えています。このように、標高が高い地域の夏の冷涼な気候を活かして、他の産地での出荷が少なくなる時期に収穫時期を遅らせて出荷する栽培方法を何といいますか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 近郊農業                      2. 抑制栽培                      3. 促成栽培                      4. 二毛作
- 
- 問11 日本の産業統計において、情報通信業の売上高が高い都道府県の分布傾向は、ある別の指標の分布と強い相関が見られます。その指標として最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 電子部品・デバイスの製造品出荷額                      2. 水力発電による発電量                      3. 一人あたりの医療費                      4. 鉄道による旅客輸送量
- 
- 問12 地域の自然環境や伝統的な文化を観光資源として活用する際、単なる見物にとどまらず、それらへの理解を深めることで環境保全と持続可能な利用を両立させようとする観光のあり方を何と呼びますか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
1. エコツーリズム                      2. グリーンツーリズム                      3. マスツーリズム                      4. バリアフリーツーリズム
- 
- 問13 2018年の日本の米輸入に関する状況について述べた文として、統計的な事実と一致するものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
1. 特定の国に偏ることなく、世界各地から均等な割合で輸入されている。                      2. アメリカとタイの2カ国からの輸入だけで、輸入総量の8割以上を占めている。                      3. ベトナムやオーストラリアが、タイに代わって第2位の輸入相手国となっている。                      4. 中国からの輸入割合が最も高く、アメリカを大きく上回っている。
- 
- 問14 沖縄県と東京都の人口動態を比較した際、沖縄県は出生数（17,000人）が死亡数（11,000人）を大きく上回っているのに対し、東京都は出生数と死亡数がほぼ同数でありながら、全体の人口は大きく増加しているという特徴があります。この両者の違いについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 沖縄県も東京都も、出生数が死亡数を大きく上回る自然増加によって人口が増えている。                      2. 沖縄県も東京都も、転入者が転出者を大きく上回る社会増加のみによって人口が増えている。                      3. 沖縄県は社会増加が人口増加の主な要因であり、東京都は自然増加が人口増加の主な要因である。                      4. 沖縄県は自然増加が人口増加の主な要因であり、東京都は社会増加が人口増加の主な要因である。